

ほうさやまかずお

市政報告

発行:富山市議会議員 自由民主党 柞山 数男

富山市婦中町新屋501 Tel (FAX)465-1212

E-mail:ho-kazuo@kami-nei.ne.jp

http://www.housayama-kazuo.com/

令和3年
6月定例会

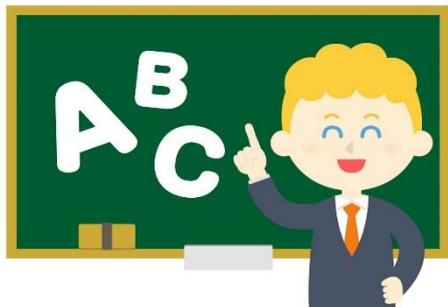
一般会計補正予算

25億7,820万円 可決

期末手当の一部をコロナ基金に積立！！

令和3年6月定例会は、6月10日から30日までの21日間の開催となりました。

一般会計補正予算では、富山市版スマートシティを推進するためのビジョン策定に要する経費のほか、緊急政策として掲げた新型コロナウイルス感染症の対応については、本市独自の取組として社会経済活動の停滞の影響を受け、厳しい状況下にある事業者の皆様を支援するため、キャッシュレス決済ポイント還元事業に要する経費や、市内宿泊施設への宿泊促進を図るための経費を原案どおり可決しました。



小中学校における外国語指導助手を増員

また、ワクチン接種体制強化のための経費や、子育て世帯への給付金なども計上したところであり、感染防止対策に万全を期すとともに、生活支援にも取り組むこととしました。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症への対応に関する事業に備えるため、令和3年6月支給分の期末手当を市長20%、その他の特別職ならびに市議会議員を10%それぞれ減額し、基金に積み立てることにしました。その他としては、企業版ふるさと納税の活用を促進する経費や自転車損害賠償責任保険への加入促進するための補助金、第4期中心市街地活性化基本計画を策定するための経費、小中学校における外国語指導助手を増員するための経費など計上することとし、また、その他の事業として、大沢野地域公共施設複合化事業におけるアスベスト除去に要する経費、水橋地区の義務教育学校の設置にあたり、来年4月の一次統合に向け、上条地区にスクールバス待合所などを整備するための経費、昨年度の大雪に伴う道路災害復旧工事に要する経費などを原案どおり可決しました。

ご挨拶

藤井新市長がいよいよ始動開始しました。平成17年4月に誕生した新富山市にとっては、森市長から2人目のリーダー誕生となりました。森前市長においては、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを政策の中心に据え、施策に取り組みされました。こうした取組の結果、約9割の市民が、住み続けたいまちと評価するなど、市民のシビックプライド（自身が地域のまちづくりにかかわっているという責任感を持つこと）が格段に向上し、様々な成果が大きく表れていますが、一方で、自分の住む地域に活気がない。中心部ばかりが発展していくといった生の声があることも事実であります。

そんな中、婦中地域から新市長が誕生した意義は大変大きく、今後のリーダーシップに大いに期待したいと思っております。



「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」の柱の一つの街中を走るセントラム

皆様のご意見、ご要望をお待ちしております。

6月定例会一般質問

富山市の未来像について

子や孫にもこのまちに住み続けてもらいたいと思っただけのような富山市



問 本市の現状をどのように認識し、「幸せ日本一とやま」の実現に向け、どのような市にしているか考えているのか。

答 人口減少や超高齢社会に対応していくため、都市経営の視点に立って、引き続き、市の中心政策として公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを継承し、深化させていくことが必要であると考えている。また、市民にとって安全・安心に暮らせる災害に強く犯罪の少ないまちづくりや、医療・福祉の充実、意欲のある若者等が夢や希望を持って起業にチャレンジできるような環境づくりなどについても、産学官の連携を図りながら、積極的に取り組んでまいりたいと考えている。

また、市民の皆さんがそれぞれ夢や希望を抱き、その実現に向かって努力されることに對し、出来るだけ寄り添い、後押しをし、応援していくことが、行政としての大切な役割であると考えている。

いずれにしても、多くの市民の皆さんが日々の暮らしを通して「幸せ」を実感し、「このまちに住んでよかった」、「自分の子や孫にもこのまちに住み続けてもらいたい」と思っただけのような、そんな富山市にしていきたいとの思いを私は強く抱いているところであり、そうした「幸せ日本一とやま」の実現を目指し、全力で市政運営に取り組んでまいりたいと考えている。

市長としてどのような姿勢で市政に臨むのか

当局と議会が車の両輪の関係となって、市政を強力に前進させる

問 市長としてこれから議会とどのような関係を築いていくのか。

答 本年2月に県議会議員を辞職するまでおよそ10年間にわたり、県民や市民の皆さんから様々な声をお聞きし、また県政に対する様々な提案や、県政のチェック活動にも取り組んできた。こうした県議会議員としての経験のほか、経済同友会やPTA等における活動経験も生かしながら、私は、富山市政の最高責任者として、市勢の発展と市民福祉のさらなる向上のため、議員の皆さんと互いに切磋琢磨しながら、当局と議会が車の両輪の関係となって、市政を強力に前進させていけるよう、全力で職務にあたる覚悟ですので、市議会の皆さんのご理解とご支援をお願いしたい。

市民重視、現場重視、スピード重視の姿勢に立って市政に臨む

問 市長としてどのような姿勢で市政に臨むのか。

答 県議会議員として在職中、実際に現場に赴き、現場を見たり、現場の声を聞くことで、頑張っておられる方や困っておられる方に寄り添い、一緒に課題解決に取り組む姿勢を自らに課してきましたが、こうした私の基本姿勢は、市長となった現在も変わることはない。

コロナ禍の真只中であって、時代は混迷度を一層深めているが、こうしたときだからこそ、なおさら現場主義やスピード主義を貫くことが大切であると考えている。

こうしたことから、私は、初めて臨んだ市長就任式において、幹部職員に対し、市民重視、現場重視、スピード重視の姿勢に立って市政に臨んで欲しいと強く呼びかけたところであり、私自身が先頭に立って、こうした姿勢を示すことで、「幸せ日本一とやま」の実現を目指し、組織全体が一丸となり、心を一にして市政の推進に取り組んでいけるものと考えている。



「幸せ日本一とやま」の実現目指して！！

市町村合併について

新富山市が誕生したことは、大変意義深いことである



問 市長として平成17年の合併についてどのように考えているのか。

答 市は、合併協議で議論されたことを尊重し、新市建設計画に掲げられた主要事業の推進に努めるとともに、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを政策の中心に据え、雇用や福祉、教育、子育て、環境、文化など、包括的な施策を展開することで、都市の総合力、並びに市民一人ひとりの生活の質を高めることに注力してきた。その結果、現在、9割近い市民の方が、住み続けたいまちであると評価され、自分の住むまちへのシビックプライドも格段に向上してきている状況にある。

加えて、人口の転入超過や地価の上昇が連続しており、固定資産税や都市計画税の税収が増加し、中山間地域への税の還流が起こっていることは、まさに都市経営の視点に立った市政運営の賜物であると受け止めている。こうしたことから、本格的な人口減少社会を迎えた今日、この1市4町2村による大同合併により新富山市が誕生したことは、大変意義深いことであると考えており、当時、合併協議を推進し、多くの困難を乗り越え、合併を成し遂げられた森市長をはじめとする各首長の皆さんや関係機関のご努力に深甚なる敬意を表する次第である。

合併検証は、今後1～2年をかけて

問 どのように合併に対する検証をおこなっていくのか。

答 合併から今日までの本市のまちづくりの16年余りの歩みを通して、富山地域における先の市町村合併の意義や効果について、今ここで客観的に検証することは、本市がコンパクトなまちづくりをはじめ、様々な政策を今後進めていく上でも大変意義のあることであると考えている。

合併の検証方法や具体の進め方については、合併検証を行った他の合併自治体の事例などを参考にしながら、現在検討を進めているところであるが、合併から既に16年以上の年数が経過しており、この間、人口減少や超高齢社会が加速度的に進行するなど、合併とは直接関係のない日本の社会全体に共通する社会的要因等がある中で、どのように客観的な検証を行うかが課題であると考えている。

合併の検証作業は、検証結果を今後の本市の施策に反映させることで、市民のQOL（Quality of Life「生きがい」や「満足度」）を一層向上させるという基礎自治体としての使命を果たすためのものであり、このような検証作業の持つ重要性などから、少なくとも今後1～2年をかけ、外部の様々な意見もお聞きしながら、腰を据えて取り組んでいく必要があるものと考えている。

新型コロナウイルス感染対策について

高齢者向け接種の完了は7月末と考えている

問 ワクチンの接種体制と、高齢者向け接種の完了に向けた状況は。

答 本市の新型コロナウイルスワクチンの接種体制については、インフルエンザなどの予防接種と同様に、かかりつけ医による個別接種を主体とし、この個別接種を補完するという位置づけで集団接種を行っている。

現在、本市で個別接種を実施している医療機関は、約170施設となっている。一方、本市が開設、運営する集団接種については、8月上旬までに、富山市・医師会急患センター、富山市保健所や保健福祉センターなど市内を巡回して実施する会場を12カ所設定している。また、これらに加え、今後、県が開設される接種会場や、職域・大学等で実施される接種会場など、接種体制は順次拡大していくものと考えている。

高齢者向け接種の完了に向けた状況は、接種希望者が想定どおりの7割（約9万人）であれば、高齢者向け接種が7月末に完了できるものと考えているが、接種希望者の増加が見込まれる場合は、その時点において可能な限りの対策を講じてまいりたい。



婦中地域での巡回接種の様子 宮川地区センター(7月8日)

60歳未満の方は、職域や大学での接種体制の進捗状況をみながら

問 今後のワクチン接種スケジュールのスケジュールは、本市での今後の接種スケジュールについては、高齢者に続く優先接種順位にあたる、基礎疾患のある方や、高齢者施設等の従事者、60～64歳の方への接種券を早期に（7月中旬）発送する予定としている。

なお、高齢者施設等の従事者については、県で開設される接種会場も含めて接種を実施することとしており、この会場での接種を希望される方には6月下旬に接種券を発送することとしている。

その他の60歳未満の方については、職域や大学での接種体制の進捗状況をみながら検討してまいりたい。

また、保育や教育関係など様々な団体からの優先接種の要望があるが、優先接種の対象につきましては、今後の感染状況や接種の進捗状況を考慮しながら、検討してまいりたい。

新型コロナワクチンの接種回数

これまでの接種回数：118,310,106回（令和3年8月23日公表）※1
（+2,570,108）※2

総接種回数の内訳

	全 体		うち高齢者（65歳以上）		うち職域接種（※3）
	回数	接種率	回数	接種率	回数
合 計	118,310,106	—	62,034,004	—	10,579,702
うち1回以上接種者	66,534,506	52.3%	31,554,819	88.9%	6,761,659
うち2回接種完了者	51,775,600	40.7%	30,479,185	85.9%	3,818,043

※1：総接種回数は、令和3年8月22日までのものである。
 ※2：増分は、直前に公表した総接種回数との差。
 ※3：職域接種は、企業や大学等において、職域（学校等を含む）単位でワクチン接種を行うものであって、令和3年8月15日までのもの。

首相官邸 新型コロナウイルス感染症対策資料より

市長が掲げる4つの政策課題について

- (1) 育む未来！生き生きひとづくり日本一とやま
- (2) 守る未来！安全・安心まちづくり日本一とやま
- (3) 稼げる未来！豊かさ日本一とやま
- (4) 繋がる未来！連携日本一とやま



問 4つの政策課題についてどのように取り組んでいくのか。

答 現在の市政の最重要課題は、何と言っても新型コロナウイルス感染症から市民の命を守ることである。このため、市民の皆さんへのワクチン接種を着実に進めていくこと。そしてそのことが地域経済を支えることにもつながるわけであり、まずはこのことに全力を傾注してまいりたい。

一方、私の選挙公約に関連した事業として、今定例会に富山市スマートシティ推進ビジョン策定に関する事業費を計上したところである。

本市のコンパクトシティ政策をさらに深化させていくとともに、この政策の果実を市域全体に広く行き渡らせるためには、ICT等の技術を活用することにより、市民の生活の質や利便性の向上を図る「富山市版スマートシティ」の実現が必要不可欠であると考えており、私は、このことにいち早く取り組みたいと考え、6月補正予算案に計上したものである。また、スマートシティを実現するための推進体制として、今月3日には、私を本部長とする「富山市スマートシティ推進本部」を立ち上げたところであり、来年度を目途に、本市が目指すスマートシティの方向性を取りまとめたスマートシティ推進ビジョンを策定したいと考えている。

今は、市政の現状や課題等を十分に把握し、理解するとともに、私が掲げた公約を実現するためには、どういった事業にこれから取り組んでいく必要があるかをじっくりと検討すべき時期であると考えており、今後、正式に政策として決定したものが出来れば、年度内の補正予算あるいは来年度以降の予算の中で、事業化を図ってまいりたい。

来年秋の完成に向けて！！

(仮称)婦中熊野・宮川保育園移転改築
主体工事の請負契約を6月定例会で議決

- ① 子どもたちの安全確保
 - ② 健康な「心」と「からだ」をはぐくむ明るい施設
 - ③ 維持管理しやすい施設をめざす
 - ④ 周囲の環境に融合する施設
- を基本コンセプトにバランスのとれた設計となっており、宮野小学校と共に地域のシンボルとなる施設となってくれることと思います。



(仮称)婦中熊野・宮川保育園の完成予想図